

14 率先安全避難者の指定制度

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
			<input checked="" type="checkbox"/> 呼びかけ
自治体	長野県飯田市		

問合せ先：長野県飯田市 危機管理課

取組概要

- 地域の状況や災害リスクを正しく理解し、意欲のある住民を「**率先安全避難者**」として、**市が事前に指定**する。
- 率先安全避難者は、**平時は住民と避難すべきタイミングを共有**しておくとともに、災害時には、**住民へ避難の声かけを行い、自らも率先して避難行動をとる**。

取組のきっかけ

- 飯田市は中山間地域に位置し、水害や土砂災害のリスクをかかえる地域であるが、自治体が避難情報を発令しても、住民の適切な避難行動に結びついていないのではないかといった課題があった。
- 全国的に、災害時に周りの人からの声かけにより、避難行動に結び付いた好事例があったことから呼びかけを制度として令和3年10月より導入した。

取組のポイント

- この制度では、地域の状況や災害リスクを正しく理解している住民のうち、意欲のある者やコミュニティにおける役員などから**地域の中で率先安全避難者を人選し、事前に市が指定・登録**する。
- 指定に当たっては、**地域の皆が納得できるよう、皆が集まる場所で合意形成**を得ることとしている。
- 率先安全避難者として指定された者は、**平時は住民と避難すべきタイミング（「避難スイッチ」）を共有**しておくとともに、**災害時には住民へ避難の声かけを行い、自らも率先して避難行動をとる**。
- 「自分にとって重要な人から避難を推奨されると、期待に応えようとする心理」を活用した取組。こうした取組を通じて、多くの住民が避難行動を適切にとることが期待されている。
- この取組にあわせてワークショップも実施し、避難に関するマップ作りも行っているため、そのマップに率先安全避難者が誰であるかがわかるように表示している。

▼ワークショップの様子



▼率先安全避難者の呼びかけによる訓練



取組の効果

- 現在の登録者数は12集落75名で、令和4年6月には1地区（8集落）で訓練を実施している。